



2023年6月26日

各位

会社名 フィードフォースグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚田 耕司
(コード番号：7068 東証グロース)
問合せ先 コーポレートチームマネージャー 嶋原 孝瑛
(TEL. 03-5846-7016)

2023年5月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年12月28日において公表しました2023年5月期（2022年6月1日～2023年5月31日）の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年5月期(累計)連結業績予想数値の公表（2022年6月1日～2023年5月31日）

(単位：百万円)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	3,907	1,189	947	936	240	9円17銭
今回発表予想 (B)	3,953	1,275	1,029	1,020	112	4円34銭
増減額 (B) - (A)	46	86	81	83	△128	△4円83銭
増減率 (%)	1.2	7.3	8.7	9.0	△53.0	△52.7
(ご参考) 前期実績 (2022年5月期)	3,005	1,137	930	912	602	23円20銭

- (注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額(販売費及び一般管理費)
2. 1株当たり当期純利益は予定期中平均発行済株式数により算出しております。

2023年5月期の連結業績予想につきましては、主にプロフェッショナルサービス事業における新規顧客からのインターネット広告運用予算が想定以上に増加したため、売上高、EBITDA、営業利益、経常利益は前回発表予想数値を上回り着地する見込みとなりました。一方で、本日公表した「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、のれんの一時償却額及び本社移転に伴う固定資産の減損損失を特別損失に計上するため、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想数値を下回り着地する見込みとなりました。

最近の業績動向等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、新たに算定した2023年5月期通期連結業績予想を開示することといたしました。

各予想金額の修正理由及び事業別の詳細については、以下のとおりです。

プロフェッショナルサービス事業においては、現時点において、新規顧客からのインターネット広告需要の高まりにより広告運用予算が増加傾向で推移しているため、売上高2,164百万円(前回予想比2.6%増)、営業利益1,008百万円(前回予想比7.3%増)に修正いたします。

SaaS事業においては、直近の実績を踏まえ、売上高910百万円(前回予想比0.6%減)、営業利益367百万円(前回予想比8.0%増)に修正いたします。

DX事業においては、テープス社を第4四半期連結会計期間より持分法適用関連会社化した影響やその他一部のプロダクトにおける販売進捗等の結果、売上高878百万円(前回予想比0.2%減)、営業損失

346百万円（前回予想額 営業損失333百万円）に修正いたします。

以上の結果、連結売上高は3,953百万円（前回予想比1.2%増）、連結営業利益は1,029百万円（前回予想比8.7%増）と前回公表業績予想から増収増益となる見込みであります。

また、本日公表「特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、当社が保有する株式会社フラクタに関連するのれんについて、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」（日本公認会計士協会 会計制度委員会報告第7号）第32項の規定に基づき、のれん償却額190百万円を特別損失に計上すること及び本社移転に伴い固定資産の減損損失として46百万円を特別損失に計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、112百万円（前回予想比53.0%減）に減少する見込みであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上